



こどもの低身長と高身長



小児科 主任医長
箱田 医師

こどもは、お母さんのおなかの中にいる時から常に成長し変化しています。よって、こどもが元気に育っていることの証として、日々の成長はとても重要なバロメーターになります。通常、身長が順調に伸びているかを確認する方法として、病院や学校では成長曲線を用いて評価しますが(ご家庭でもネットからダウンロードできます)、身長が成長曲線の標準範囲内(-2SD から+2SDの間)で曲線に沿って伸びていけばたいい問題ありません。一方、こどもの数パーセントに、-2SDを下回る低身長や+2SDを上回る高身長を認めます。ただし、そのこども達がすべて何か病的な診断をされるわけではありません。身長の約80%は遺伝により規定されることが知られており、このこども達は、ご両親のどちらかが身長が低いあるいは高いなど生まれつきの体質であることが大半です。実際、お子さんの最終身長がどの程度になるか気になるところだと思いますが、そのご両親から生まれたお子さんの到達するであろう最終身長を予測する計算方法があります(あくまで目安であり、実際の最終身長を確認するものではありません)。

男の子の目標身長(cm)=[お父さんの身長+お母さんの身長+13]÷2

女の子の目標身長(cm)=[お父さんの身長+お母さんの身長-13]÷2

低身長や高身長のお子さんのごく一部に、何かしらの診断がついたり、実際に成長ホルモンなどの治療の対象になったりすることがあります。低身長については、成長ホルモン分泌不全性低身長やターナー症候群、軟骨異栄養症、SGA 性低身症等と診断された患者さんにおいて成長ホルモン治療の対象になります。一方、高身長では、思春期早発症や成長ホルモン過剰、何かしらの症候群と診断される場合があり、それぞれへの治療が必要になることがあります。また低身長をきっかけに甲状腺機能低下症、高身長をきっかけに甲状腺機能亢進症が見つかることもあります。

JR仙台病院小児科では身長に関わる様々なご相談を受け付けております。お一人お一人丁寧な診察を行い適切な診断と治療に結び付けていくことを心がけております。ご心配なことがありましたらいつでもお気軽にご相談ください。

院内デイケアの様子



毎月院内デイケアを行っています。高齢者の方々との触れ合いと、病院としての対応を学ぶ目的で開催しています。



藤原総務部長、藤澤人事課長KURUMAZA

JR仙台病院で初めてKURUMAZAが開催されました。JR東日本の各現場で働く社員と支社幹部の意見交換を目的として開催しています。医療職の立場から様々な意見や取り組み内容を改めてお話しできるとても良い機会となりました。医療部門とレール部門の交流を今後も深めていきます。



医療の豆知識

～マンモグラフィ検査について～

2017年の統計では日本女性の9人に1人が乳がんにかかると言われており、亡くなる方も年々増加し、1年間に約1万4千人になります。また乳がんは、女性の壮年層（30～64歳）においては死亡原因のトップになっているにもかかわらず、関心の低い人が多いのも現状です。しかし、がん全体では乳がんの罹患率は高いですが死亡率は第5位であり、比較的予後良好な癌ですので、早期発見、早期治療が大切です。

マンモグラフィ（乳房X線撮影）は、乳がんの初期症状の1つである石灰化や腫瘤を描出し、早期の乳がんの発見に有用です。撮影方法はマンモグラフィ装置を使用し「乳腺（乳房内の組織）」を識別しやすくするために乳房を薄く挟んで撮影します。そのため多少の痛みを伴いますが、乳房を薄く均等にひきのばすことでより多くの画像情報が得られ、かつ被ばく線量も減らすことができます。



X線検査なので放射線による被ばくも伴いますが乳房だけの部分的なもので、1回の撮影で受ける放射線の被ばく線量は約0.15mSvです。しかし私たちの生活の中で受ける自然放射線による被ばく線量は1人当たり1年間の世界平均で2.4mSvなので、マンモグラフィ撮影での被ばくによる影響はかなり小さいと聞いていいでしょう。それよりも検査によって早期乳がんが発見できることのメリット（利益）の方がはるかに大きいのです。早期発見のために、検診やセルフチェックを積極的に行うてはいかがでしょうか。

【放射線科 医療技師 橋本 絢子】

2019年度業務研究表彰

11月9日、2019年度業務研究表彰式が行われました。「地域包括ケア時代における当院での入退院支援システムの構築」の取り組みが優秀賞に輝き、雨宮人財戦略部長より表彰されました。



OB会絵画展・写真展開催



東日本鉄道OB会仙台支部「第13回小さな絵画展」、写真クラブ「第14回健やか写真展」が開催されました。

「JR仙台病院の皆さま 新型コロナ感染症対応 心から感謝いたします」とメッセージと共に素敵な作品をご提供していただきました。



新任スタッフ紹介

氏名：山岸 直人（やまぎし なおと）

放射線科 医療技師

出身地：山形県

趣味・特技：テニス・卓球

ひとこと：慣れない環境になりご迷惑をお掛けすると思いますが精一杯頑張りますので、よろしくをお願いします。



氏名：藤原 瑞樹（ふじわら みずき）

リハビリテーション科 医療技師

出身地：北海道

趣味・特技：映画鑑賞・野球

ひとこと：患者さまが日常生活において変化を実感できるよう、一人一人の体の状態に合わせたリハビリテーションを提供致します。



来年もJR仙台病院をよろしくお願い致します☆

JR仙台病院・電話 0120-958-207 予約センター受付時間 9:00～16:00

【診察の順番は予約をされている方が優先となります。当院は予約制となっておりますが、事前予約できない診療科や予約受付時間が上記と異なる診療科があります】

健康管理センター・電話 022-380-2330 各種健診予約受付時間 13:30～16:00 / 地域医療連携室・電話 022-380-2331